

令和7年度第1回福岡県男女共同参画審議会 議事録(要旨)

1 開催日時

令和7年5月28日(水) 午前10時00分～11時30分

2 開催形式

ハイブリッド開催

オフライン：福岡県中小企業振興センター 401号(福岡市博多区吉塚本町9-15)

オンライン：ZOOM

3 出席者

(委員)

一宮仁委員、大久保千穂委員、加藤聖子委員、櫻たかこ委員、佐藤有里子委員、志柿敏隆委員、谷口洋子委員、中村珠美委員、原田泰伸委員、榊尾美栄子委員、光安正哉委員、宮崎聖子委員、森島孝委員、山本美穂委員、横山美栄子委員

(事務局等)

人づくり・県民生活部 (浦田部長)

男女共同参画推進課(原口課長、田上課長補佐、神野参事補佐、松尾参画推進係長、福井参事補佐兼女性支援・保護係長)

女性活躍推進課(島村課長、河野課長補佐)

4 議題

(1) 福岡県知事からの諮問について

①「第6次福岡県男女共同参画計画」について

②「第6次福岡県男女共同参画計画」に係る計画第一部会及び計画第二部会の設置について

(2) 計画第一部会及び計画第二部会 部会員の選出について

5 議事要旨

(1) 福岡県知事からの諮問について

①「第6次福岡県男女共同参画計画」について

【委員】

若い男性は産休や育休を取って、家事も結構やっている感覚がある。

離職率は高くなっているが、DVは私の周りではないように思う。

困難な状況になった時、生活環境が変わるのはほとんどが女性で、男性は仕事も、何も変わらない。一方で、女性は仕事を辞めたり、子どもを連れて実家に帰ったりしなければならないのが現状である。

また、育児休業は、企業からすると3年は長い。これだけ目まぐるしく世界が変わるなか、3年経って

育児休業から復帰すると、また0からスタートになるところもあるため、1年ぐらいが妥当ではないか。

【委員】

男性は何か家事、育児にあたるのかピンと来ていないところもあるので、男女の差が大きく出ているのではないかと感じている。

福岡では、まだ平日は圧倒的に女性が家事をやっているパターンが多いが、東京では完全に1週間交代をしている家庭もあり、全国的に変わってくるのではないか。

男性の育児休業取得率は増加しているが、男性がほとんど2週間程度、女性は半年以上か1年になっているところを見ると、「取るだけ育休」のようになっている。

育児休業は、本人にとっても、企業にとっても、ちゃんと復帰した後のことを想定した上で取らないといけない。復帰しても、仕事と家庭の両立ができず離職してしまう男性が増えてきている。育児休業期間中に仕事と育児の両立について夫婦で話し合うところを啓発していかないといけない。

企業の協力も得ながら、完全に休むだけではなく、働きながらの育休を体験できるような仕組みができると、意味のある育児休業になるのかもしれない。

【委員】

親の介護の役割は、男性も多くなっているが、デイサービスへの手続きなど細かいことは配偶者にさせ、自分ではやっていると思込んでいる場合も多いような印象を受けている。

また、同じ福岡県内でも、都市部と県境では、子育て支援などだいぶ違っている。都市部でない地域では、人口が少ないこともあって、預けられる保育所やファミリー・サポート・センター制度の温度差があり、働きにくい環境になっている。

地域格差を補助金で解消するシステムや、100円バスの導入、タクシー会社に委託して子供を保育所に預けやすくする仕組みなど、アイデアを出していけば、同じ県内でも温度差が狭まるのではないかと。

【委員】

自治会長における女性の割合が少ないように、なかなか地域に男女共同参画が広がっていかない。

「自治会役員に女性が少ない理由」として「女性が受けたがらない」という理由が1位となっているが、地元の自治会長アンケートでは、1位が「男性の意識の問題」で、「女性が受けたがらない」という理由は2位であった。課題は慣例、男性の意識なのか、女性の意識なのか、所属する団体において、今後焦点を当てて考えていきたい。

【委員】

アンケートがかなり長く、無償でやってくれというのと、引き受ける人が少ないのではないかと。時間を拘束しており、アンケートを短くするか、謝礼を出すかしないと、回答率は上がらないと思うので、改善をお願いしたい。

健康ポイントアプリのような既存のアプリを利用し、アンケート回答者にポイントバックするような仕組みも考えられる。

【委員】

時間がある人しか回答できないような作りになっており、意見の偏りが生じてしまうのではないかと。街頭で聞いたり、いろんな形で意見を吸いあげないといけない。1回で集めようとするから長くなるのであって、テーマを絞ったり、質問を減らしてLINE上でのアンケートにするなどしてもいいのではないかと。

【委員】

意識調査の結果について、政令市と県境ではどう違うのかなど、市町村と情報共有、連携をしているのか。どの分野にも地域格差があるので、県は市町村のことも考えながら市町村と連携できるような工夫をお願いしたい。

【委員】

政令市は様々なサービスを受けられるが、規模の小さな自治体においては、ベビーシッター制度など使えないケースもある。

この審議会で意見を聞くだけではなく、審議内容を改善に繋げてもらいたい。

【委員】

意識調査について、数は少ないが、4地域に分散し、年齢も特定のところに偏っておらず、分析可能なデータが集まっていると思う。

この概要書では、地域の視点での分析がなく、各地域の課題が見えてこないが、元データをもう一度見て、地域の課題や差異を探るということも重要だと思う。

この調査は計画の策定に向けて5年に1回しか行われぬ貴重なデータであるため、部会で地域の問題を検討される際には地域のデータを抽出してもらいたい。

【委員】

質問が多岐にわたることもあり、設問が非常に長い。

5年に1度ということだが、1年ごとにテーマを絞ったアンケートができればいいと感じた。

選挙では商業施設で投票できるようになっており、若い人が集まる場所でアンケートをとれるような工夫があればいいのではないかと。

②「第6次福岡県男女共同参画計画」に係る計画第一部会及び計画第二部会の設置について

(質疑なし。事務局案を承認)

(2) 計画第一部会及び計画第二部会 部会員の選出について

(質疑なし。事務局案を承認)